

2018年1月発売

大東亜共栄圏構想のアジア金融政策

横浜正金銀行

マイクロフィルム版 第13期

編集: 武田晴人(東京大学名誉教授)

16ミリマイクロフィルム 全32リール(リール番号982-1013) 価格¥640,000〔税別〕



(満洲中央銀行本店)

大東亜共栄圏建設を旗印にアジアへの進出を図った帝国「日本」の金融政策の一環を示す貴重な記録文書を収録。開業から終戦に至るまでの満洲中央銀行をはじめ、中国連合準備銀行、華興商業銀行、蒙疆銀行、中央儲備銀行、印度支那銀行、フィリピン国立銀行、爪哇銀行などに関する横浜正金銀行の内部資料100点余りから構成されている。昭和10年代後半の資料が中心ではあるが、華商銀行、十五銀行、台湾銀行、朝鮮銀行に関する大正期から昭和初期の資料も中にはある。

太平洋戦争開戦・南方進出に備えた地域の経済・金融・政治に関する貴重な情報を満載したものであり、「横浜正金銀行全史」からでは窺いしれない発見の可能性もある。

出版・発売: 丸善雄松堂株式会社